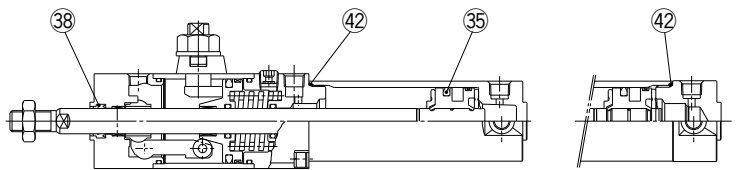


# CLG1 Series パッキン交換要領 ①

## 1 シリンダの分解

- ①シリンダは清浄な場所で分解・組付を行ってください。
- ②分解はロックユニットの交換方法 (CLG-1) ①～③を参照してください。



ロングストロークの場合

- ③8 ロッドパッキンA
- ③5 ピストンパッキン
- ④2 シリンダチューブガスケット

## 2 パッキンの取外し

- ③8 ロッドパッキンA: 精密ドライバーなどを差し込み抜き取ります。  
カバーのパッキン溝に傷をつけないように注意してください。(図1参照)
- ③5 ピストンパッキン: 図2のように取外してください。
- ④2 シリンダチューブガスケット: 精密ドライバーなどで抜き取ります。

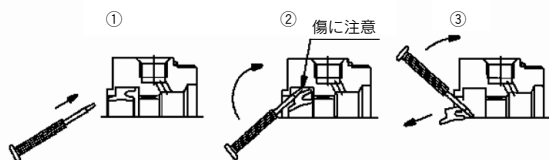


図1 ロッドパッキンの取外し

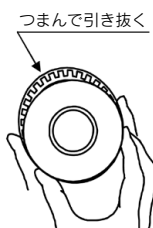


図2 ピストンパッキンの取外し

## 3 パッキン類へのグリースの塗布

- ①各パッキンの外周に薄くグリースを塗布してください。
- ②ロッドパッキンの溝部にはグリースを充填してください。



図3 パッキン類へのグリース

## 4 パッキンの装着

- ③8 ロッドパッキンA: パッキンの方向を間違えないように装着します。
- ③5 ピストンパッキン: 図5のようにパッキンを引っ張りながら装着してください。

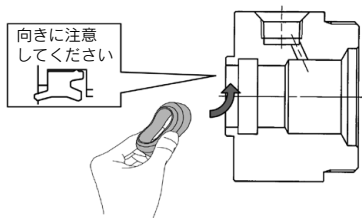


図4 ロッドパッキンの装着

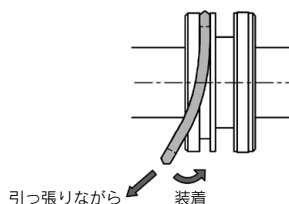


図5 ピストンパッキンの装着

## 5 グリースの塗布

- ③⑧ ロッドパッキンB : グリースをパッキンとブッシュ内周全体にわたって塗布してください。(図6参照)  
また、小口径の場合には、精密ドライバーなどを使って傷をつけないように塗布してください。
- ③⑤ ピストンパッキン : グリースを擦り込む要領でパッキン溝内部と外周に塗布してください。(図7参照)
- ④② シリンダチューブガスケット : グリースを薄く塗布してください。
- シリンダ各部品 : 図9の各部品にグリースを塗布してください。  
100stのシリンダ1本につき表1の量のグリースが必要です。  
目安としては人差し指ですくった程度が約3gです。(図8参照)

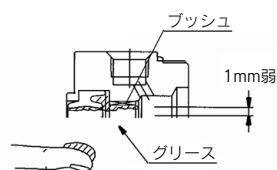


図6 ロッドパッキン

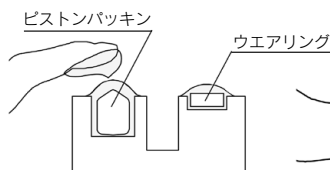


図7 ピストンパッキン

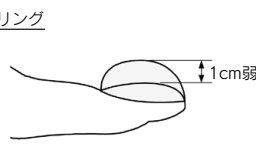


図8 グリース量

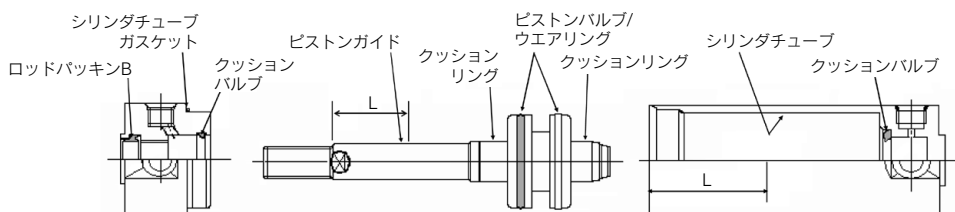


図9 グリース塗布位置

$$L = \frac{\text{ストローク}}{2} \text{ または } 100\text{mm以上}$$

表1 グリース塗布量

単位 : g

ストローク	ボアサイズ			
	20	25	32	40
100ストローク時	2	3	3	3~4
50ストローク割増	0.5	0.5	0.5	1

## 6 シリンダの組立

- ① ゴミ等が付着していないかよく調べ、パッキン等を傷つけないように行ってください。
- ② カバーを元の位置(ロッドカバー側・ヘッドカバー側ポートが合う位置)より、0°~2°程度まで増締めしてください。
- ③ 組み付けが終わりましたら手でスムーズに動くことを確認してください。

## 7 交換部品

- ① CLG1シリーズは、ロックユニット(ロングストロークを除く)およびパッキン(ロッドパッキンB・ピストンパッキン・シリンダチューブガスケット)の交換が可能です。
- ② 上記以外の部品の交換が必要な場合は、当社営業までご依頼ください。

アクチュエータ

モジュラフォーマット  
圧力制御機器

圧縮空気清浄化機器

工業用フィルタ

交換要領

アクチュエータ

モジュラフォーマット  
圧力制御機器

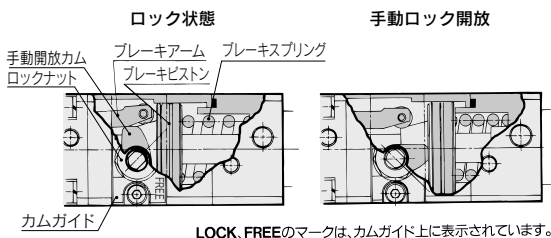
工業用フィルタ

## 8 ロックユニットの交換方法

### ⚠ 注意

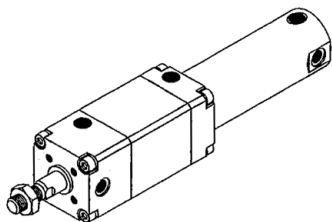
CLG1シリーズはロックユニットの交換が可能です。  
(ただし、ロングストローク仕様の場合はロックユニットの交換はできませんので、ご注意願います。)

- ① 手動ロック開放状態にします。
  - a. ロックナットをゆるめます。
  - b. ロック開放ポートに0.3MPa以上の空気圧を供給してください。
  - c. カムガイド上に表示されているFREEの位置に手動開放カムの二面取の部分がかかるように止まるまで回してください。
  - d. 二面取の部分を固定したままロックナットを締め付けてください。

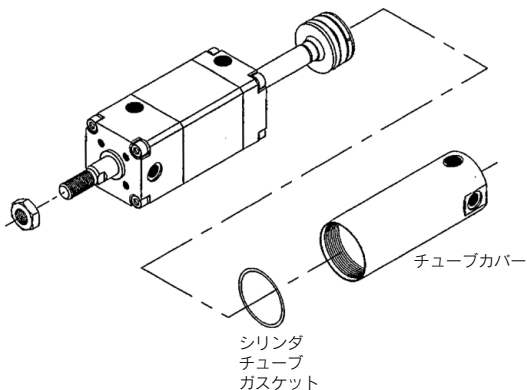


- ② ロッドカバー四角部またはチューブカバーの二面取りの部分の一方を万力などではさみ、もう一方をスパナやモンキーレンチなどを掛けてゆるませ、ロックユニットを外します。  
四角部および二面取り部の寸法は、下表を参照してください。

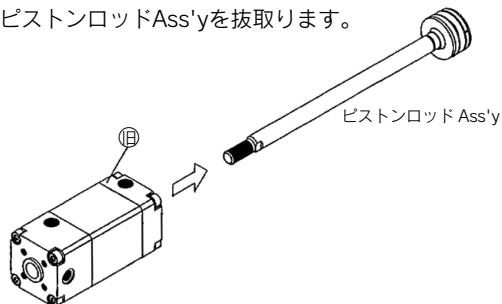
チューブ内径 (mm)	ロッドカバー四角部 (mm)	チューブカバー二面取り部 (mm)
20	38	24
25	45	29
32	45	35.5
40	52	44



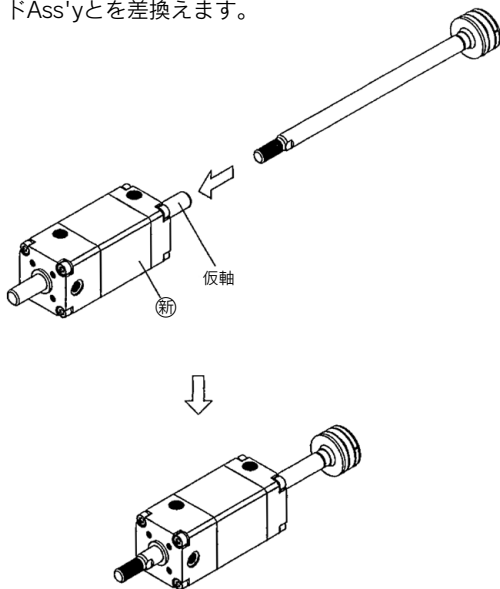
- ③ チューブカバーを外します。



- ④ ピストンロッド Ass'y を抜取ります。



- ⑤ 新しいロックユニットの仮軸と、先程のピストンロッド Ass'y とを差換えます。



注) ピストンロッド Ass'y を新しいロックユニットに差換える際は、ねじ部や二面巾部分でロッドパッキンBを切らないよう、十分ご注意ください。  
ご使用前に、必ず手動開放カムをロック状態にしてください。

- ⑥ ③→①の逆の手順で再組立してください。  
再度締付る時は、取外した位置より2°位増締めしてください。